

季節性インフルエンザの 予防接種がはじまります

■インフルエンザとは？

インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをする事により、ウイルスが空气中に広がり、それを吸い込むことによってインフルエンザに感染します。インフルエンザは流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで多くの人に感染しますので、感染しないように予防することが大切です。

■予防接種を受ける時期は？

インフルエンザの予防接種は、毎年10月中旬頃から開始します。抗体ができるまでに3〜4週間かかるため、インフルエンザが流行する1月頃までに抗体をつけるためには12月中旬頃までに予防接種を受けられることをお勧めしています。

■インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種は免疫をつけ、死亡者や重症者の発生を出来る限り減らすために実施します。

今シーズン使用するワクチンは、昨シーズン同様、季節性インフルエンザ(A香港型/H3N2、B型)と新型インフルエンザ(A/H1N1)の株が混合された3価ワクチンとなります。

【受付】

インフルエンザ予防接種は町内の医療機関で接種ができます。接種を希望される方はかかりつけの主治医にご相談ください。

※65歳以上の方は、南部町が発行する「インフルエンザ予防接種票」をお持ちいただくと1000円で受けられます。(一部の方を除く)

※12歳以下のお子様については、インフルエンザに対する免疫力が少ないため、2回受けられることをお勧めします。

西伯病院で予防接種を希望される方

はお電話にて予約をお願いします。

西伯病院 ☎66・2211



創立60周年記念式典を開催しました

西伯病院は、地域のみなさまに支えられて、創立60周年を迎えることができました。10月15日(土)には、ふるさと交流センター(福成)において、創立60周年記念式典を行いました。

これまでの間、特に西伯病院を支えて頂いた小松原孝介元院長など、個人5名と、地元自治会倭区に感謝状を贈呈し、これまでの病院発展に寄与していただいたことに感謝いたしました。そして、今後70年、80年と、将来にわたって西伯病院が発展し、常に前を向いて歩いて行くよう、「上を向いて歩こう」を若手職員で合唱しました。また、鳥取大学の豊島良太医学部長に、「足腰の健康と寿命一元気に歳を重ねるために」と題し、記念講演をしていただきました。



地域医療フォーラム開催

ボランティアフェスティバルの会場内で、60周年を記念した地域医療フォーラムを開催します。みなさんぜひお出かけください。

開催日/ 11月6日(日) 午前10時30分~11時30分

場所/ 西伯病院 屋外ステージ

■テーマ/ 皆が安心して暮らせるための地域医療をめざして

■パネリスト/ 木村 修 (西伯病院 院長)
高田 照男 (西伯病院 精神科部長)
吹野 園江 (西伯病院 元総婦長)
秦 伯富 (南部町ボランティア連合会 会長)

